

長崎学習センター

(コード：42A)

長崎学習センター案内図 ☎095-813-1317



【所在地】〒852-8521 長崎市文教町1-14(長崎大学文教キャンパス内)

【交通アクセス】

- JR長崎駅・浦上駅から(長崎駅から約20分、浦上駅から約10分)
 - ・路面電車 ▶ 1番・3番系統「赤迫」行き、「長崎大学」下車 ▶ 徒歩約3分
 - ・長崎バス ▶ 1番系統「滑石」「時津」「長与」方面行き、「長崎大学前」下車 ▶ 徒歩約3分
 - ・長崎県営バス ▶ 「滑石団地」行き、「長崎大学前」下車 ▶ 徒歩約3分
- JR(長与経由)▶「西浦上」下車 ▶ 徒歩約15分
- 長崎空港から(長崎空港4番乗場)
 - ・長崎県営バス ▶ 「昭和町・浦上経由 長崎」行き(約45分)「長大東門前」下車 ▶ 徒歩約5分

【その他連絡事項】

放送大学専用の駐車場はありませんので、原則公共交通機関を利用してください。
 ※近隣に有料駐車場有。また、土日に関り長崎大学構内に有料で駐車できます。
 長崎駅近隣のホテル案内は長崎学習センターウェブサイトに掲載しております。
 長崎学習センター窓口では、面接授業の教科書は販売しておりません。(印刷教材は除く。)

科目コード	2667665	授 業 概 要	安政5年（1858）に締結された修好通商条約により開港地には居留地を設置することが定められ、長崎、横浜、神戸、築地、川口には居留地が整備されました。居留地は明治32年（1899）に廃止されることとなりますが、それまでの間、ここで暮らす外国人と日本人との交流拠点としても機能しました。では、ここでお互いにどのような文化的交流があったのでしょうか。講義では、日本人による欧米文化の受容、外国人による日本文化の受容の双方に焦点を当て、解説していきます。 【授業テーマ】 第1回 出島と居留地はどのように違うのだろうか？ 第2回 日本人はなぜ洋服を着るようになったのだろうか？ 第3回 洋風建築と擬洋風建築とはどのように違うのだろうか？ 第4回 日本人は食肉文化をどのように受け入れたのだろうか？ 第5回 髷と散髪と日本人 第6回 居留地で生まれ育った外国人①：倉場富三郎と魚たち 第7回 居留地で生まれ育った外国人②：アルシディー・リンガーとドールハウス 第8回 居留地における異文化交流を考える 【受講前の準備学習等】 高等学校の日本史の教科書で幕末・明治時代について復習しておいてください。 参考文献に挙げた図書を読んでください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター(コード)	42A		
クラスコード	K		
科目名	居留地における異文化交流		
科目区分	専門科目：社会と産業		
ナンバリング	320		
定員	60名		
担当講師	ミナモリ シゲタ 南 森 茂 太 長崎大学 人文社会科学域(経済学系)准教授		
日程実施時間	4月26日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 4月27日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	長崎学習センター 講義室		

科目コード	2667681	授 業 概 要	この講義は、長崎の名所として皆さんにお馴染みの場所、また現代では知られていないところを取り上げ、昔の文字であるくずし字の資料を用いて講読していきます。 具体的には、「おすわさん」の愛称で今日も親しまれる鎮西大社諏訪神社、蛸と蓮の名所として知られていた浦上新田、秋の紅葉の名所として現代でも多くの観光客が訪れる心田庵、長崎代官の高木氏の別業を取り上げ、長崎の名所の魅力に迫っていきます。 【授業テーマ】 第1回 くずし字入門—今の文字と昔の文字— 第2回 くずし字で読む江戸時代長崎の諏訪神社—「玉園山花宴記」を読む— 第3回 日中文化交流の舞台としての諏訪神社 第4回 くずし字で読む心田庵—「松陰舎記」を読む— 第5回 江戸時代長崎の煎茶と茶室 第6回 くずし字で読む江戸時代長崎の浦上新田—二つの「観蓮記」を読み解く— 第7回 南面の画題としての「蓮」と唐物趣味 第8回 高木代官の別業「雨香亭記」をくずし字で読み解く 【学生へのメッセージ】 この講義では、江戸時代長崎の名所の魅力をくずし字で読み解きます。長崎の名所の魅力を存分に味わってみませんか。くずし字を読んだ経験のない方も大歓迎です！読解のための手ほどきを一朝から丁寧に行います。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 なお、1日目の講義日終了後は、授業中に学習したくずし字を復習して、字母とくずし方を覚え、2日目の講義に御出席ください。また、授業において取り扱った長崎の名所に足を運んでみることをお勧めします。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 くずし字の読解にアプリを利用しても構いません。その場合、スマートフォン・タブレット等の端末をお持ちください。AIくずし字認識アプリ「みを」をインストールして、くずし字を読解できます。なお、パケット通信量に制限等がある方は、学習センターの無線LANを利用できます。利用方法はシステムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・今と昔の長崎に遊ぶ（増崎英明 著／九州大学出版会／¥2,640／ISBN=9784798503103） ・長崎東西文化交渉史の舞台—ポルトガル時代オランダ時代—（若木太一／勉誠社出版／¥4,400／ISBN=9784585220589） ・長崎東西文化交渉史の舞台—明・清時代の長崎支配の構図と文化の諸相—（若木太一／勉誠社出版／¥6,600／ISBN=9784585220640） 【その他（特記事項）】 タブレットなどの端末を使用する場合は、充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
学習センター(コード)	42A		
クラスコード	K		
科目名	くずし字で読む長崎の名所		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	60名		
担当講師	キラ フミアキ 吉 良 史 明 長崎大学 人文社会科学域(教育学系)准教授		
日程実施時間	5月10日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 5月17日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	長崎学習センター 講義室		

科目コード	2658640	授 業 概 要	この授業は自分用パソコン持ち込み方式(BYOD: Bring Your Own Device)で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他(特記事項)】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 2日間で、2種の実験を行い、それぞれ測定・データ入力・分析・レポート作成まで行います。実験は心理学における主要な研究方法の一つです。ただ単に、測定を経験するだけでなく、確からしい結論に至るための論理や工夫について学んでほしいと考えています。受講生の皆さんは、原則として全8回の授業すべてに出席し、すべての課題のレポートを作成・提出する必要があります。 【授業テーマ】 第1回 講義：心理学における実験の重要性と実験計画 第2回 実験：「鏡映描写」 第3回 実験のまとめと実験計画についての補足 第4回 実験：「ストループ効果」 第5回 講義：実験の立案について 第6回 講義：表計算ソフトを用いたデータ処理 第7回 講義：表計算ソフトを用いたデータ処理2 第8回 実験のまとめ 【学生へのメッセージ】 「仮説通りの結果が出ない」イコール「実験は失敗」ではありません。得られたデータをどう解釈するのがもっとも正しいのか？その根拠は？どう確かめればよいのか？と繰り返し自分に問いを向けることがレポート作成において重要です。 【受講前の準備学習等】 ・シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 ・なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義(概論、研究法、統計学など)を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論(24)」、「心理学研究法(20)」、「心理学統計法(21)」を視聴してください。 ・統計学の基礎知識(t検定・有意水準・帰無仮説など)と表計算ソフトの操作(データ入力やファイル保存、コピー、貼り付け、グラフ作成、ピボットテーブルなど)を学んでおいてください。 ・インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 ・OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 ・システムWAKABAのログインIDやパスワードを再確認しておいてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 キーボードが必要な実験を予定しています。ノートパソコンもしくは、キーボード付きタブレットを持参してください。 2. OSの指定 WindowsもしくはmacOSが望ましい。 3. ソフトのインストール ・文書作成ソフトが必要です。WordやGoogleドキュメント等種類は問いませんが、Wordで作成したファイルを配布します。 ・表計算ソフトが必要です。ExcelやGoogleスプレッドシート等種類は問いませんが、Excelを用いて説明します。 ・ブラウザはMicrosoft Edge(エッジ)、Google Chrome(クローム)、Mozilla Firefox(ファイアーフォックス)、Safari(サファリ)のいずれかが必要です。 4. その他 ・マウスを持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・紙媒体でレポート提出する場合、学習センターにプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・初心者でもすぐにできるフリー統計ソフトEZR(Easy R)で誰でも簡単統計解析(神田 善伸/南江堂/¥4,180/ISBN=9784524261581) - 無料で見える統計ソフトのマニュアル本です。 【その他(特記事項)】 ・色識別を要する実験課題があります。 ・心理学実験1・心理学実験2・心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からも受講可能です。 ・測定・データ収集に要する時間に変動があるため、休み時間が前後します。 ・充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
学習センター(コード)	42A		
クラスコード	K		
科目名	心理学実験3		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	27名		
担当講師	ハシグチ ススム 橋口 晋 長崎リハビリテーション学院 非常勤講師		
日程実施時間	5月10日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 5月11日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25		
実施会場	長崎学習センター 講義室		

科目コード	2667703	授 業 概 要	この講義は、化学反応の速度について学習します。化学反応が起こる場合、必ず反応速度が存在します。反応速度が大きいと、短時間で目的のものが合成でき、反応に使うエネルギーなども少なくて済みますが、反応速度が小さいと、逆に反応に長時間を要し、エネルギー消費も大きくなります。この講義では、化学の基礎となる原子や分子の構造を勉強し、化学結合について学習した後、化学反応の仕組み、その速度との関係、反応速度に影響を与える因子などについて学習します。また、反応速度式の作り方、使い方についても学習します。 【授業テーマ】 第1回 原子の構造と分子の構造 第2回 化学結合の種類と仕組み 第3回 化学反応の仕組み 第4回 反応速度式 第5回 化学平衡と複雑な反応機構 第6回 生化学反応における反応速度の取り扱い 第7回 反応速度とエネルギーの関係 第8回 環境汚染物質の除去について考える 【学生へのメッセージ】 化学反応速度を学習するにあたり、高校の数学の知識（微分や積分）を必要とします。また、講義ではExcelなどの表計算ソフトを使って、解説するときがあります。これらの知識がある方が、理解が早いです。 【受講前の準備学習等】 シラバスのテーマを確認し、テーマに使われている用語を、インターネットや図書などで事前に調べておいてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 筆記用具、ノート、関数電卓（スマートフォンのアプリ可） 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
学習センター(コード)	42A		
クラスコード	K		
科目名	化学反応の速度とは何か？		
科目区分	専門科目：自然と環境		
ナンバリング	310		
定員	40名		
担当講師	タナベ シュウジ 田 邊 秀 二 長崎大学 総合生産科学域(工学系)教授		
日程実施時間	5月17日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 5月18日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	長崎学習センター 講義室		

科目コード	2659026	授 業 概 要	臨床心理学の基礎を、体験を通して学びます。ある課題への問題解決や、(ソーシャルディスタンスを取りながら)グループ討議などを行い、自分自身と他者の理解を深めていきます。簡単なロールプレイ等、実際に動いて身体を通して学んでいく予定ですので、動きやすい服装で、体調管理を万全にして受講にのぞんでください。各コマ課題があり、スモールステップ形式で深めていきますので、全コマ出席できる方に限ります(遅刻早退は不可)。課題ごとにレポートを課します。 【授業テーマ】 第1回 ウォーミングアップ 第2回 自己へのアプローチ1 第3回 問題解決の方法 第4回 シェアリングとまとめ 第5回 自己へのアプローチ2 第6回 自己表現と他者表現1 第7回 自己表現と他者表現2 第8回 まとめ・質疑応答 【学生へのメッセージ】 課題を出しますが、答えが用意されているというのではなく、受講生各人の中に、その答えはあります。積極的に参加してください。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 授業当日、「いま、ここで」を大切に授業展開します。心身の健康を整え、臨んでください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 12～24色程度の色鉛筆・クレヨン・パステルなど、自身が使いやすいもの。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
学習センター(コード)	42A		
クラスコード	K		
科目名	臨床心理学実習		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	サトウ ヒトミ 佐 藤 仁 美 放送大学准教授		
日程実施時間	5月24日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 5月25日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	長崎学習センター 講義室		

科目コード	2667690	授 業 概 要	この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 生成AIが注目を集めています。特に画像生成AIは、近年急速な技術進化を遂げています。本授業では、生成AIの中でも画像生成AIに焦点を絞って、その仕組みを解説します。その後、画像生成AIのメリット、デメリットを研究します。 【授業テーマ】 第1回 AIとは？ 第2回 生成AIの仕組み（Chat GPTを例に） 第3回 生成AIを使ってみよう（Chat GPTを例に） 第4回 画像生成AIとは？ 第5回 画像生成AIの仕組み 第6回 画像生成AIを使ってみよう 第7回 画像生成AIの光と影 第8回 画像生成AIの未来について 【学生へのメッセージ】 スマートフォンやノートパソコンを日ごろから使いこなすことが重要です。 【受講前の準備学習等】 ・シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。なお、先読み！IT×ビジネス講座 画像生成AI、深津 貴之、水野 祐、酒井麻里子を参考書として利用する予定です。本参考書等を活用し、画像生成AIについて情報を収集しておくことをお勧めします。 ・インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システム WAKABA 学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 ・OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 種類は問いません（ノートパソコン、タブレット、スマートフォン）。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS、Android等）。 3. ソフトのインストール ブラウザを使用しますが種類は問いませんので、特別なソフトのインストールは不要です。 4. その他 ソフトのバージョン指定はありません。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・先読み！IT×ビジネス講座 画像生成AI（深津貴之、水野祐、酒井麻里子／インプレス／¥1,650／ISBN=9784295016267） 【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責にやらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
学習センター（コード）	42A		
クラスコード	K		
科目名	画像生成AIの光と影		
科目区分	専門科目：情報		
ナンバリング	320		
定員	24名		
担当講師	コバヤシ トオル 小林 透 長崎大学 総合生産科学域（情報データ科学系）教授		
日程実施時間	5月24日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 5月25日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	長崎学習センター 講義室		

科目コード	2667622	授 業 概 要	世の中には、様々なタイプの作曲家がいます。早起きをして、午前中に仕事を済ませ、午後以降はのんびりと過ごすタイプ。日中は集中できず、真夜中に部屋にこもって仕事をするタイプ。中には、酒場でもビリヤード台の上でも作品を描き続けた天才音楽家もいますが。今回の講義では、その街とそんな作曲家たちにスポットを当て、その街ならではの風景（風土）の中で、どんな作品が生まみだされてきたのかを、ピアノ演奏を交えながら探ってみたいと思います。 【授業テーマ】 第1回 ヴィーン 生涯をこの街で、フランツ・シューベルト 第2回 バリの異邦人 ショパンのピアノ曲に流れる祖国（ポーランド）のリズム 第3回 童謡の故郷・信州 唱歌・童謡が生まれたふるさとの風景 第4回 ブエノスアイレス バンドネオンが踊る、アストルピアソラ 第5回 イタリア・ルッカ 中世・城壁の街とジャコモ・プッチーニ 第6回 温泉保養地・バートイシュル（オーストリア） プラームス苦悩の子守歌 第7回 ウェスト・エンド（ロンドン） ミュージカルの幕が上がる、ロイド＝ウェバー 第8回 まとめとミニコンサート 【学生へのメッセージ】 今回取り上げるいわゆる「名曲」は、数ある楽曲のほんの一部です。そして、クラシックからミュージカル、童謡と幅広いジャンルから選んでみました。どうぞリラックスして、作曲家たちが残した美しい音楽を楽しんでいただけたらと思います。 【受講前の準備学習等】 シラバスに示された作曲家の作品から、受講するみなさんのお気に入りの「名曲」を探しておいてください。 また、授業で提示された作品をもとに、復習としてそのほかの音楽作品も視聴してみましょう。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 筆記用具 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 実施会場（長崎創楽堂）の椅子が、演奏ステージ仕様のため、硬い折り畳み椅子です。必要に応じて、各自、座布団・クッションなどを準備してください。 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。学生教育研究災害傷害保険の加入については、面接授業開設科目一覧P.5参照
学習センター（コード）	42A		
クラスコード	K		
科目名	その街で 名曲は生まれた		
科目区分	導入科目：人間と文化		
ナンバリング	220		
定員	36名		
担当講師	ホリウチ イブキ 堀内 伊吹 長崎大学名誉教授		
日程実施時間	5月31日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 6月1日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	長崎大学長崎創楽堂 （長崎市文教科1-14）		

科目コード	2658453	授 業 概 要	この授業は自分用パソコン持ち込み方式(BYOD: Bring Your Own Device)で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他(特記事項)】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 これからパソコンの使い方とオンライン授業の受講方法を学びたいと思っている初心者向けの授業です。学習センターにご自身のパソコンを持参して、その操作方法とともに、放送大学の情報通信環境およびオンライン授業の受講方法を学びます。学習センターのWi-Fiへの接続方法、放送大学ウェブサイトの閲覧方法、学生用電子メールの送受信方法、受講科目の登録や成績の確認ができるシステムWAKABAの利用方法、附属図書館の電子情報サービスによる情報収集方法を実習で学びます。さらに、オンライン授業のテキストの閲覧と動画の視聴、小テストの提出、ディスカッションへの参加、レポート課題ファイルの提出を体験します。 【授業テーマ】 第1回 パソコンの基本操作(キーボード入力・マウス操作・オンライン授業に必要な基本スキル) 第2回 文書作成とPDF保存 第3回 Webとメールの活用 第4回 セキュリティ 第5回 システムWAKABA・自己学習サイト 第6回 放送大学附属図書館の電子情報サービス 第7回 オンライン授業の実践 第8回 まとめと振り返り(第7回で体験したオンライン授業の感想をレポートにまとめオンラインで提出) 【学生へのメッセージ】 基本的なパソコン操作と放送大学の学習に役立つパソコンの使い方を初歩から学びます。実習中は、講師とアシスタントが丁寧にサポートしますので、パソコンを使い慣れていない方でも安心して受講してください。 【受講前の準備学習等】 ・インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。 ・OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 ・「学生生活の栞」に掲載されている放送大学のシステムWAKABA(教務情報システム)や各種システム、情報セキュリティガイドラインを読んで理解しましょう。自分用パソコン等を使ってシラパスの内容を予習してください。受講後は、受講時に配布する「新・初歩からのパソコンテキスト」を通読し、受講内容を復習してください。 ・システムWAKABAのログインやパスワードを再確認しておいてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。とくに、授業前と後でのパソコンスキルの伸びを重視します。 【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください(タブレット、スマートフォンは不可)。 2. OSの指定 Windows10またはWindows11が必要です。 3. ソフトのインストール Wordが必要です。 配付資料をPDF形式ファイルで提供しますので、Adobe Acrobat Readerをインストールしておいてください。 4. その他 ・Windows10以降。 ・Microsoft Office 2016以降またはMicrosoft 365のWordを対象とします。 ・マウス ・USBメモリ(※市販されている一番安価な物で結構です)。 ・学生証 授業内でログイン操作を伴う実習があります。必ずお持ちください。 ・イヤホン 【教科書】 ・新・初歩からのパソコンテキスト(情報リテラシー面接授業タスクフォース/放送大学/¥0) 授業当日に配付します。 【参考書】 ・新・初歩からのパソコン電子版テキスト(情報リテラシー面接授業タスクフォース/放送大学/¥0) PDFダウンロード方法は授業で説明いたします。 【その他(特記事項)】 この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。 (履修制限)「大学で学ぶためのパソコン基礎」の単位を修得済の方は登録できません。 ・『新・初歩からのパソコン』の電子版テキストの入手方法は授業で説明します。 ・充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
学習センター(コード)	42A		
クラスコード	K		
科目名	新・初歩からのパソコン		
科目区分	基盤科目		
ナンバリング	110		
定員	24名		
担当講師	フジムラ マコト 藤村 誠 長崎大学 総合生産科学域(情報データ科学系)准教授		
日程実施時間	5月31日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 6月1日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	長崎学習センター 講義室		

科目コード	2664011	授 業 概 要	本講義は、生命保険契約法を中心に保険法、生命保険の基本的知識の修得、およびそれを前提とした問題解決のための応用力の育成を目的とします。民法の契約法理・親族法・相続法等に対する理解が深まることも期待されます。 毎回の講義においてプリントを配付するとともに、講義の狙い・キーワードを示します。講義中、ところどころに保険実務の現場で起きやすいトラブルや重要な判例・裁判例を取り上げて説明を加えます。 【授業テーマ】 第1回 ガイダンス&保険法総論Ⅰ－保険制度、保険の分類、保険法の基礎理論 第2回 保険法総論Ⅱ－当事者と関係者、保険者の補助者、契約の基本概念・類型・主な法的性質 第3回 生命保険契約の成立Ⅰ－契約成立のプロセス、被保険者の同意、責任開始時期等 第4回 生命保険契約の成立Ⅱ－告知義務制度の意義、告知義務、告知義務違反による解除（生命保険募集人との関係等） 第5回 保険金受取人の指定・変更－第三者のためにする生命保険契約、保険金受取人の指定、生前の意思表示による変更、遺言による変更（相続財産との関係等） 第6回 生命保険契約の終了Ⅰ－保険金受取人の死亡（相続人との関係等）、保険契約者側による解除 第7回 生命保険契約の終了Ⅱ－保険者の免責、重大事由による解除（故意事故招致・保険金詐取行為との関係）等 第8回 復習、事例研究－遺言による保険金受取人の変更に伴う諸問題 【学生へのメッセージ】 本講義は受動型ではなく、参加型にします。 8回の講義は、受講者にとって緊張感、充実感、そして達成感を得られるものとなるよう努めますので、受講者の皆さんからのご協力のほどよろしくお願いします。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 授業中、保険法のみでなく、民法など他の法律条文を参考とする場合が多いので、できる限り最新の六法（小型のもので結構です）を持参してください。スマホやノートパソコンのような電子媒体で六法を調べても結構です。その場合、パケット通信量に制限等がある方は、学習センターの無線LANを利用できます。利用方法はシステムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の確認問題への解答、課題への取り組み姿勢、質疑応答への参加等を総合的に判断して行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・保険法 第4版（山下友信／竹濱修・洲崎博史・山本哲生／有斐閣アルマ／¥2,310／ISBN=9784641221291） ・逐条解説保険法（宮島司編著／弘文堂／¥13,200／ISBN=9784335356049） 【その他（特記事項）】 端末を持参する場合は、充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
学習センター（コード）	42A		
クラスコード	K		
科目名	市民生活と保険法		
科目区分	専門科目：社会と産業		
ナンバリング	320		
定員	60名		
担当講師	リーミン 李 鳴 放送大学教授		
日程実施時間	5月31日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 6月1日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	長崎学習センター 講義室		

科目コード	2667606	授 業 概 要	この授業は、国際的な観光産業に特化した英語力の向上を目指す人を対象としています。カスタマーサービス、旅行プランニング、文化交流など、観光に関連する様々な場面でのコミュニケーション能力を高めることに重点を置いています。 【授業テーマ】 第1回 観光英語入門 第2回 カスタマーサービス 第3回 各種予約 第4回 旅行計画と旅程 第5回 文化的感受性とエチケット 第6回 ツアーガイドのスキル 第7回 困難な状況に対処する 第8回 まとめ・振り返り 【学生へのメッセージ】 この授業は英語力の向上だけでなく、興味深く楽しい教室環境の中で観光英語を学ぶことを目的としています。英語でのコミュニケーションに自信のない方もお気軽にご参加ください。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 授業で学修した内容や演習問題などを活用して復習を行い、理解を深めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況およびレポートの評点によります。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。
学習センター（コード）	42A		
クラスコード	K		
科目名	国際観光英語		
科目区分	基盤科目：外国語		
ナンバリング	120		
定員	60名		
担当講師	ダッツマン ブライアン 長崎大学 言語教育研究センター助教		
日程実施時間	6月7日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 6月8日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	長崎学習センター 講義室		

科目コード	2667614	授 業 概 要	家庭教育や学校教育等における教育心理学の基礎的な知識や技術について、「発達」、「学習」、「パーソナリティと適応」、「教育評価」の視点から理解を深めていきます。さらに、発達障害についての理解を深めるとともに、アドラー心理学の観点から教育の問題について考察を深めていきます。 【授業テーマ】 第1回 教育心理学とは 第2回 発達 第3回 学習 第4回 パーソナリティと適応 第5回 教育評価 第6回 発達障害の理解と教育 第7回 アドラー心理学と教育 第8回 まとめ 【学生へのメッセージ】 心理学、教育心理学の基礎的な用語や概念についてわかりやすく解説していきます。自分自身の経験や日常生活と結び付けて考えていきましょう。 【受講前の準備学習等】 ・シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 ・授業で学習した内容や演習問題などを活用して復習を行い、理解を深めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
学習センター(コード)	42A		
クラスコード	K		
科目名	教育心理学入門		
科目区分	導入科目：心理と教育		
ナンバリング	210		
定員	60名		
担当講師	カク ヒデトシ 加 来 秀 俊 活水女子大学名誉教授		
日程実施時間	6月7日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 6月8日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	長崎学習センター 講義室		

科目コード	2667630	授 業 概 要	口の中（口腔）の状態は全身の状態に大きく影響することが明らかとなってきました。特に歯周病による感染や歯が欠損したまま放置しておくことと全身に大きな問題を引き起こすことがあります。 本授業では口腔や歯科治療に関する知識を整理し、口腔環境が全身に及ぼす影響に関して理解し、そうならないための対処を学修します。 【授業テーマ】 第1回 口腔について（鶴飼） 第2回 むし歯の治療（鶴飼） 第3回 入れ歯、インプラント治療（黒木） 第4回 咀嚼・嚥下に関して（黒木） 第5回 口腔状態と全身の病気の関連1（鶴飼） 第6回 口腔状態と全身の病気の関連2（鶴飼） 第7回 歯周病治療（鶴飼） 第8回 口腔管理の方法（鶴飼） 【学生へのメッセージ】 歯周病とインプラントに関しての予備知識を入れておいてください。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断し自己学習をお願いします。特に歯周病とインプラントに関しての自己学習をお願いします。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 筆記用具以外特にありません。 【教科書】 教科書は使用しません。
学習センター(コード)	42A		
クラスコード	K		
科目名	全身に影響する 口腔と歯科治療		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	320		
定員	60名		
担当講師	ウカイ タカシ 鶴 飼 孝 長崎大学病院口腔管理センター教授 クロキ タダフミ 黒 木 唯 文 長崎大学病院口腔管理センター講師		
日程実施時間	6月21日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 6月22日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	長崎学習センター 講義室		

科目コード	2658666	授 業 概 要	心理検査の基礎理論を概論的に学ぶとともに、人格検査領域の代表的な心理検査を取り上げ、心理検査とはどのようなものか、その理論的背景を理解した上で基本的な知識を習得し、いくつかの検査を実際に体験的に実習することで実施法と結果の解釈を身に付け、理解を深めることを目的としています。また、その結果を通して、自己理解及び他者理解に役立てることをめざします。 受講生の皆さんは、原則として8回の授業すべてに出席し、3つの実習のそれぞれについてレポートの提出が必要になります。 【授業テーマ】 第1回 心理検査とは：標準化、信頼性と妥当性、代表的な心理検査 第2回 心理検査の実施：検査倫理、テストバッテリーとレポートの書き方 第3回 心理検査の実習：Big Five尺度（心理測定尺度集） 第4回 心理検査の実習：Y-G性格検査 第5回 心理検査の実習：バウムテスト 実施編 第6回 心理検査の実習：バウムテスト 解釈編 第7回 模擬事例からみる心理検査の活用（WISC等） 第8回 心理検査のまとめ 【学生へのメッセージ】 心理検査は、信頼性と妥当性に裏付けられた科学的ツールであり倫理的配慮も求められます。真摯に、誠実な態度で主体的に臨んでいただけることを期待します。 【受講前の準備学習等】 ・パソコンを持参してのレポート作成も許可します。パソコンを持参してのレポート作成は、メールでの提出となります。キャンパスメールが使用できるようにしておいてください。なお、パソコンを持参の場合、インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 ・シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。 事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。 【成績評価の方法】 授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により評価を行います。 特に、レポートの評価については、3つの実習課題（心理検査）ごとに小レポートを課します。その上で、その小レポート3本を踏まえた最終レポートが課されます。合計4つのレポートがそろわないと評価ができません。小レポートは、その実習課題ごとにその場で作成することが求められます。 【受講者が当日用意するもの】 ・実習のある回ではHBから2Bの鉛筆が1本あると望ましいです。 ・パソコンを持参してのレポート作成も許可します。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・心理検査の実施の初歩（心理学基礎演習Vol.5）（願興寺礼子・吉住隆弘編／ナカニシヤ出版／¥2,860／ISBN=9784779503870） 【その他（特記事項）】 パソコン等を持参する場合は、充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
学習センター(コード)	42A		
クラスコード	K		
科目名	心理検査法基礎実習		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	ホソノ ヤスフミ 細野 康文 長崎純心大学 人文学部准教授		
日程実施時間	6月21日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 6月22日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25		
実施会場	長崎学習センター 講義室		

科目コード	2667649	授業概要	細菌は私たちの身の回りにたくさん生存しています。細菌が特にすごいのは、さまざまな環境で生き抜く能力です。細菌は食品を腐らせますが、逆に食品の発酵や保存にも利用されます。また、病原性細菌もありますが、抗菌薬を産生して役立つものもあります。特定の細菌は環境中の汚染物質を分解する能力を持っていることから、それを利用して環境保護や浄化技術の開発にも貢献しています。 本講義では細菌の多様な能力を理解し、私たちの生活や健康にもポジティブな影響を与えることを学びます。 【授業テーマ】 第1回 細菌の多様性 第2回 細菌との共生 第3回 バイオフィルム 第4回 新興感染症とパンデミックのリスク 第5回 ヒトと気候変動がもたらした感染症の拡大 第6回 抗菌薬の発見と耐性菌の出現 第7回 細菌のスーパーパワー 第8回 バクテリアルアート 【学生へのメッセージ】 毎回、冒頭に実施するグループワークの中で、自分の考えを述べるとともに、グループ毎に意見を取りまとめてもらいます。したがって、グループワーク中のインターネットの使用は不可なので、事前準備が必要です。 【受講前の準備学習等】 各テーマに関する用語などについて”信頼できる”インターネットのサイトなどで調べてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、グループワークへの参加状況、授業中の学習状況およびレポートの評点によりおこないます。 【受講者が当日用意するもの】 筆記用具 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 グループワークは授業の冒頭で実施します。遅刻すると成績評価に必要なグループワークに参加できなくなるため、時間厳守をお願いします。
学習センター(コード)	42A		
クラスコード	K		
科目名	驚異の バクテリアパワー		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	320		
定員	60名		
担当講師	イシイ ヨシカズ 石井 良和 広島大学 IDEC国際連携機構PHIS特任教授		
日程実施時間	6月28日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 6月29日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	長崎学習センター 講義室		

科目コード	2667657	授業概要	依存症は、本人の意志の弱さや性格の問題でなるわけではなく、依存する物質の使用や行為をしたことがあれば誰でもなる可能性があります。ニュースで取り上げられたり、身近に依存の問題を抱えている人がいたりする一方で、依存症に至った背景やその後の回復のプロセスに関しては、あまり知られていません。この科目では、依存症について基礎的な知識を学び、依存症をテーマとした映画を観ることを通して、依存症に至る背景と社会的影響、依存症に対する社会の在り方について考えることを目標としています。 【授業テーマ】 第1回 依存症とは 第2回 依存症に関する映画①視聴 第3回 依存症に関する映画①視聴＋ディスカッション 第4回 依存症に関する映画②視聴 第5回 依存症に関する映画②視聴＋ディスカッション 第6回 依存症に関する映画③視聴 第7回 依存症に関する映画③視聴＋ディスカッション 第8回 まとめ 【学生へのメッセージ】 本授業で使用する映像には「一部刺激的な場面」が含まれます。映画は依存症（アルコール、薬物、ギャンブル）に関する内容であり、暴力的なシーン等も含まれます。依存症に関連した経験のある方にとっては、映画視聴によって苦痛を感じたり、フラッシュバックを起こす可能性もありますので注意してください。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
学習センター(コード)	42A		
クラスコード	K		
科目名	映画で学ぶ依存症		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	320		
定員	60名		
担当講師	ナガエ マサハル 永江 誠治 長崎大学 生命医科学域(保健学系)准教授		
日程実施時間	7月5日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 7月6日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	長崎学習センター 講義室		

科目コード	2667673	授 業 概 要	憲法の条文は簡潔に書かれているものが多く、条文を読んだだけでは具体的な内容の理解が難しい場合があります。例えば、日本国民に人権は保障されているけれど、日本に長く住んでいる外国人にも人権が保障されるかは条文を読んだだけでは分かりません。そこで今回は、憲法領域において裁判となり、裁判所が出した判断、それに関連する学説も併せて、解説することとしました。憲法の内容をより深く学習することが出来ると思います。 【授業テーマ】 第1回 人権総論 第2回 精神的自由 第3回 経済的自由・人身の自由 第4回 社会権 第5回 選挙権・国務請求権 第6回 国会・内閣 第7回 司法・財政・地方自治 第8回 平和主義・天皇 【学生へのメッセージ】 今、憲法を改正するかどうかが社会的に議論されています。憲法を改正すべきか、しない方が良いのか、しっかりと考えるには、正確に憲法の内容を理解していなければ判断出来ません。憲法の勉強を一緒にしてみませんか。初心者でも分かるように解説します。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
学習センター(コード)	42A		
クラスコード	K		
科目名	憲法判例研究		
科目区分	専門科目：社会と産業		
ナンバリング	310		
定員	60名		
担当講師	イケヤ カズコ 池谷 和子 長崎大学 人文社会科学域(教育学系)准教授		
日程実施時間	7月5日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 7月6日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	長崎学習センター 講義室		

科目コード	2667711	授 業 概 要
学習センター(コード)	42A	
クラスコード	K	
科目名	五島灘洋上実習	
科目区分	専門科目：自然と環境	
ナンバリング	320	
定員	24名	
担当講師	モリイ ヤスヒロ 森 井 康 宏 長崎大学 総合生産科学域(水産学系)教授 ヤマワキ ノブヒロ 山 脇 信 博 長崎大学 総合生産科学域(水産学系)准教授	
日程実施時間	7月5日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 7月6日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10	
実施会場	長崎大学水産学部附属練習船 長崎丸	

長崎大学の練習船「長崎丸」に乗船して実施する1泊2日の体験型合宿授業です。長崎大学水産学部の教育機関及び船員の養成機関でもある練習船に、長崎大学学生と共に乗船し、船に関する知識と海洋調査により、現在の環境を調べる手段とその重要性を理解して頂きます。

【授業テーマ】

- 第1回 (船内活動) ガイダンス、練習船の見学(山脇)
- 第2回 (室内講義) 安全設備の解説と避難訓練(森井)
- 第3回 (航海実習) 操船、機関室見学、船舶運用実務(森井)
- 第4回 (室内講義) 船の基礎知識について(森井)
- 第5回 (観測実習) CTD観測、採水、透明度(山脇)
- 第6回 (観測実習) 採泥、プランクトン採集(山脇)
- 第7回 (室内講義) 海の生物と環境(山脇)
- 第8回 (室内講義) 海洋観測について、2日間のまとめ(森井)

【学生へのメッセージ】

全世界の環境が大きく変化してきている現在において、日本人にとって大きく関係している食糧資源となる魚類の生息域の変化も顕著になってきています。海洋の生産の基礎となる海洋プランクトンおよびその環境について学び、さらに産業としての漁業について理解を深めて頂きたいと思います。

【受講前の準備学習等】

授業で説明する資料を事前に配布します。
長崎丸に搭載されている航海計器・観測機器の名称、使用目的等を事前に理解して下さい。
現在の環境変化による災害等に関する情報収集に努めて下さい。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】

野外活動ができる服装と靴でお越しください。レポートがありますので、筆記用具を準備ください。

【教科書】

授業当日にプリントを配付します。

【その他(特記事項)】

船内の宿泊は2~4名の相部屋です。船内は急傾斜の階段が多いため、階段の昇降に支障のない方に限ります。

船上での実習を実施するため、天候等状況に応じて授業時間割を変更して実施することがあります。

参加費・交通費として授業料とは別に、14,500円程度(※施設維持管理費(10,000円)、食費・クリーニング代(2,000円程度)、交通費(2,500円程度))が必要です。参加費・交通費は当日徴収します。受講できなくなった場合は、必ず事前に長崎学習センターに連絡して下さい。乗船14日前(6月21日)以降にキャンセルの場合は、食費分をいただきます。

※長崎丸の乗船には、2020年度から「長崎丸共同利用における施設維持管理費」10,000円が必要になりました。(上記14,500円程度に含んでいます。)授業1日目は、午前8時30分までに学習センターに集合後、係留場所(長崎市多良良町)までバスで移動します。なお、詳細は履修登録者へ別途お知らせします。

「学生教育研究災害傷害保険(100円)」および「学生教育研究賠償責任保険(340円)」の両方に加入している者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。学生教育研究災害傷害保険の加入については、面接授業開設科目一覧P.5参照